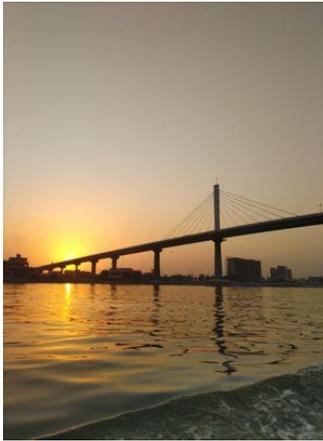




目標16 平和と公正をすべての人に

(特活)セーフ・イラクチルドレン・名古屋



被爆からの復興
非暴力・非武装主義を貫く
日本・日本人をリスペクト！
とても親日的で、日本人以上に
礼儀正しいイラク人

武器を持たない支援を 名古屋からイラクへ!!



* 活動の始まりと主な活動 *



始まりは **2003年**

イラク戦争後から **ガンや奇形など先天性疾患をもつ子供たちが急増**
劣悪な環境で病に苦しむ子供たちを、イラクで目の当たりにした小野万里子弁護士が設立

主な活動

- ① **イラクの医療人**を招聘して、**医療研修の機会創出**
- ② **薬剤や医療機器などの寄贈**
- ③ **国際交流や国際理解**を広める活動



2015年 バッシム医師から届いたイラク北西部ラマディ



被弾により破壊された建物



焼き焦げた救急車



廃墟と化した街並み



* これまで招聘したイラクの医療人たち *



2004～2020年に愛知県内の病院で研修を受けた医療人は50名以上



研修を受け入れてくださる病院

名古屋大学医学部付属病院
あいち小児保健医療センター
愛知医科大学病院

など多

数



戦禍や情勢不穏のなかを
来日する 医師も少なくない



= 2020年2月まで =

* 活動内容 *

医師の研修受入れ
国際理解の啓蒙活動など



* 講演会の企画～開催 *



* イベント参加・ブース運営 *



* 空港への送迎、広島(被爆地)や
観光地への案内、国際交流等での
アテンドなど *



* 定例会実施 *



* ニュースレター企画・発送 *





= コロナ禍の活動 =

* 活動内容 *

イラクの病院に防護具を贈る
プロジェクト
現地からのSOSに応じて！



* ラマディ *
母子病院



アルカンサア病院

* モスル *



アルハムダニヤ病院



医療器具支援で手術を受けた子供たち



SICNから寄贈に対する感謝状



イブンアルアテル子ども病院



* 支援の実り *

2022.10
イラク訪問



ワサン医師(2013研修)
若い医師とのカンファレンス



バスラ小児病院 腫瘍科の壁の
「生命の樹」

回復した子供たちの写真
患者たちの励み

モスルで開院した
シェイマ医師の病院
女性と子どものための
心エコークリニック
「報告書」は日本での書式で作成



今年3月にバスラに完成「がん専門病院」
アサード医師(2004年研修)が責任者



* 支援の实り *



支援活動20年目として、イラクを訪問が記事に！

2022.11.16 ~ 2022.11.19
小野代表のイラク訪問の様子と現地での支援の成果が
中日新聞に掲載されました

18年かかり、ようやく夢がかないそうです
イラク南部バスの医師アサド・カフさん(52)
28面

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811



* メディア掲載 *



訪日ドクターたちは、幾度となくメディアに取り上げられました



メンバー紹介



高校生・大学生・社会人 それぞれのスタイルで活動に参加

SICNIには人生のルーツとなる
出会いと経験があった

SICNIとの出会い
国際協力団体がブースを出すイベント
(毎年秋に実施/ワールド・コラボ・フェスタ)

なぜ、活動に参加しようと思ったか
展示写真・イラクの子どもたちを見て心を動かされた
カナダ留学で経験したボランティアを日本でも！

活動が現在のキャリアプランに
中東に関わりたく大学ではペルシャ語を専攻
世の中の出来事を伝えたくて新聞社に就職

活動を再開した理由
団体の人たちが好き！
中東にまた関わりたい

小原さん
高校生時代の活躍



鈴木さん
イラクの
小学校で
読み聞かせ



田淵さん
ヨルダンのイラク
難民キャンプで
医療ボランティア



メンバー募集



英語が得意、英会話力を鍛えたい、イラク料理を食べてみたい、お掃除ならできる、とりあえず何か始めてみたい
あなたの **興味・関心・スキル・やる気** すべてが、ボランティア活動になります！！

初心者大歓迎！！

私たちの活動モットーは

できることを、できる範囲で、無理なく活動する

日常生活の空いた時間に
趣味や自分の時間はそのまま！！

空港や駅までのお出迎えだけ
歓送迎会に参加するだけ
イベントブースに2時間だけ応援 など
少し都合を調整するだけで十分です

こんな活動スタイルでも
イラク人医師には大きな支えとなり
7000km離れたイラクの子どもたちを
支援できるのです

まずは一緒に活動してみませんか？



<< お問い合わせ先 >>
セイブ・イラクチルドレン・名古屋

特定非営利活動法人
キャンヘルプタイランド

NPO C.A.N.H.E.L.P. Thailand

Canada America Nippon Health Education Love Purpose

2022年度の活動

<http://canhelp.jp/>

海ツアー

2022年4月17日～4月25日

- ・タイの情報のアップデート
- ・チェンマイ学生寮の旅行支援





カンボジア奨学金授与式 & タイ視察

2022年6月27日～7月10日

カンボジア（バタンバン州）

・奨学金授与（6月28日）

タイ（サツケーオ県）

・建設プログラム実施校の視察

タイ（チェンマイ県）

・名城附属高校オンライン交流

・学生寮米購入費支援

・学生寮中古PC支援





スタディーツアー 2022年8月18日～9月1日

- ・ 日本人大学生7名と学生寮の交流
- ・ 中古PC支援
- ・ 名城付属高校オンライン交流





主な国内活動

- 4月 3日 (日) 総会
- 9月25日 (日) 奨学金資料翻訳会
- 11月19日 (土) 絵本コンクール表彰式
- 12月 3日 (土) ぼらマッチ
- 12月10日 (土) 国際協力カレッジ
- ほぼ毎月第4土曜日の運営委員会





ホームページ



NPO **C.A.N.H.E.L.P. Thailand**

Canada America Nippon Health Education Love Purpose

生理でとめるな

～途上地域の女児のキャリア形成にむけた
布ナプキンと月経教育の推進～

名城大学附属高等学校 キャリアteens

早田未来 三宅華鈴

伊藤蒼星 稲垣杏梨 加藤乃亜 林青空

活動のきっかけ・目的

きっかけ

途上地域のある事例を知る

e) 月経を病気だと思ふ・穢れと考える

からかわれる・相談できない・隔離される

学校に通えない女の子がいる

目的

月経が原因で女兒の教育が阻まれないようにする

4年前から続く布ナプキンプロジェクト

4年前

ケニアとインドの女兒の月経事情を調査 ・ 布ナプキン送付活動を知る

3年前

オーガニックコットンの端切れで布ナプキンを作製
ケニアに送付 ・ バリの生徒とオンラインで意見交換

2年前

協力NPOの拡大 ・ タイとウガンダの状況を調査 ・
地域の方と連携した布ナプキン作製 ・ 企業と連携したナプキンの簡易作製キットの開発

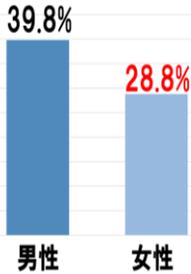
昨年

タイとウガンダに布ナプキンを届ける ・ 卒業生はNPOのインターンとしてウガンダで活動 ・
オンラインで交流・調査

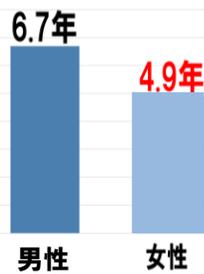
現状

サハラ以南アフリカの問題背景

中等教育レベルに達した割合

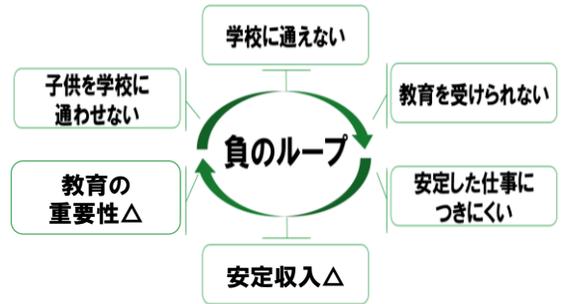


教育の平均年数



⇒男女間の大きな差

学校に通えないとどうなる???



⇒限られた将来選択と貧困の再生産

女の子が教育を受けにくくなる原因

価値観

教育 < 宗教・慣習

経済状況

月経用品 ×

環境・衛生問題

トイレ環境 ×
きれいな水 ×

月経用品事情と月経に対する考え方

⇒“女性”が原因

布ナプキンプロジェクトのステップ

Step1 布ナプキンの作製・送付

布ナプキンを手にする事で、通学を継続



Step2 布ナプキン簡易作製キットの作製

現地で作製する第一歩



Step3 情報の普及(月経・布ナプキン・性)

違う言語、幅広い年代の人に伝わる工夫



Step4 自前で布ナプキンの作製

現地の布で現地の生徒が作製・現地産業とのバランス

なぜ布ナプキン？

繰り返し
使えて
経済的

自分で
作れて
持続可

ごみが
減って
環境良

月経用品の普及と月経に関する知識を深めることで

女兒が教育を受ける& 将来を自由に選択できる

このプロジェクトを行うことで

自分自身のキャリア選択& 日本の状況を見直す

今まで布ナプキンを届けた国



90枚

みんなのカラダLabo (shihoさん)



ケニア (キスム)

30 + 100枚

C.A.N.H.E.L.P.Thailand



タイ (チェンマイ)

260枚

Global Bridge Network



ウガンダ (カンバラ)

3国とのかかわりを通じて

・ 関係する課題

- トイレやサニタリーボックスの不備
- 地域によるナプキンサイズの違い
- 月経教育の不足
- ミシン・材料の不足

・ 布ナプキンの感想

- 古布を使わなくていい
- 月経用品がないときは助かる
- 月経用品が手に入れば使わない



みんなが地球市民

同じ社会の一員として見過ごせない！
世界の問題は日本にも繋がっている！

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



10 人や国の不平等
をなくそう



国際協カカレッジ2022



名古屋NGOセンター

(2022年度 外務省NGO相談員)



NGO相談 NGO相談員とは？

年度ごとに募集があり、外務省より委嘱される制度です。（全国15団体）

①**NGO相談**：市民より、NGOの活動や団体についての相談、NGOからは、設立やマネジメントについての相談などに答えます。

②**出張サービス**：自治体や学校などが実施する国際協力関係のイベント等にて、出展や講演を行います。

①**相談料**、②**出張サービス料**（旅費も含め）は**無料**です。

地域にかかわらず、難民、教育支援など、それぞれ得意な分野がありますので、詳しくは相談員リストをご覧ください。（外務省のホームページに記載されています。）



人づくり NGOスタッフになりたい人のための コミュニティカレッジ(Nたま)

経験豊かな講師、多様な仲間たちとともに「NGO」「世界の課題」などをじっくり学び、ほんとうに「自分のやりたいこと」を考える半年間のプログラム。

2002年の1期生から18期生まで計264人のうち、のべ145人がNGO/NPOスタッフ（有給/無給問わず）として羽ばたきました！



NGOスタッフに
なりたい！



Nたまに参加して、
社会を変える1人になろう！

ご関心のある方は、ぜひお問合せ下さい。

また、継続のためのサポート（ご寄付）を
頂ける方もクラウドファンディングにて
絶賛募集中です！（12/26まで）

NGOのたまご、略して「Nたま」で検索！



人づくり

【参加者募集】Nたま 修了式

2023年2月25日(土) | 13時~17時30分



NGOや国際協力についてもっと知りたい方、NGOで働くことに興味がある方にオススメです!

※12月中旬に参加者募集スタート予定
(詳細は名古屋NGOセンターホームページに掲載予定です)

情報提供

無料メールマガジン(メルマガ) Facebook・TwitterなどSNS

主に中部地域にて、国際協力や多文化共生などをテーマに取り組むNGOの情報を配信する、「無料メールマガジン」を随時、配信しております。

また、FacebookやTwitterでも名古屋NGOセンターの情報を配信しております。

ご希望の方は、名古屋NGOセンターのホームページトップからご登録ください。

(登録解除も自由です。個人情報不要です)



【外貨 MOCHIYORI】プロジェクト

33カ国の外貨紙幣を集めています

※コインは主要な通貨のみ

中部地域のNGO 支援に使われます

詳しくは www.mochiyori.org までお問い合わせ



名古屋 NGO



CLICK!!



インターン募集

事務局インターン募集!

▼2023年4月～ ▼募集人数1~2名
▼頻度：週8時間以上

(開始時期、期間など、詳細は応相談)

詳細は、ホームページやメルマガなどでお知らせ予定です。

学生、社会人の方など
期間を決めて、NGOに
しっかり関わってみたい方
にオススメです。



ボランティア募集

会報編集のメンバー募集!

▼メンバー：6~7名 ▼編集会議：平日の19:00~21:30
▼頻度：年2回発行。1号につき4回の編集会議、企画・取材・編集作業



様々な経験や年代の人たちが
一緒に作業しています。
経験がなくても歓迎です!



告知

【参加者募集】

多文化共生PARTNER育成講座2022

多文化共生に関心
がある方にオススメ!

会場はJICA中部
です



本日お伝えした
内容について、
ご質問があれば、
チャットでお尋ね
頂くか、17:00~
交流ルームにお越
しください。

多文化共生に関心のあるユース (学生、35歳以下の社会人)

全3回シリーズ (第1回のみ参加もOK)

第1回: 2022年12月18日(日)

13:30~16:30

会場: JICA中部/オンライン
定員: 40名 (会場、オンライン共)

第2回: 2023年2月5日(日)

13:30~16:30

会場: JICA中部 定員: 40名

第3回: 2023年3月19日(日)

13:30~16:30

会場: JICA中部 定員: 40名



← 申し込みはこちらから

第1回は金友子氏(立命館大学国際関係学部准教授)を講師に迎え、基調講演とそれを踏まえた体験型ワークショップにより、無意識の差別・偏見について理解します。

なお、基調講演のみ一般の方の視聴が可能です。

各回の詳細は裏面をご覧ください。

一般の方

第1回基調講演(第1部)のみオンラインで視聴できます。

2022年12月18日(日)

13:30~15:00



← 申し込みはこちらから

